

健康あきた

INDEX

【特集】 「コール・リコール事業実施状況報告」

【トピックス】 「公益財団法人JKAの補助事業」

【運動情報】 「運動強度を表すMETs(メッツ)」

【PR情報】 「日本人間ドック学会健診施設機能評価を更新しました」



平成28年度全国一斉複十字シール運動キャンペーン

コール・リコール事業実施状況報告

公益財団法人 秋田県総合保健事業団

健診事業部 企画調整課

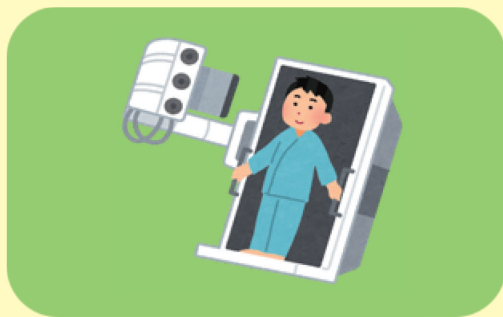
はじめに



当事業団は、秋田県からの委託を受け、県が目標とする検診受診率50%の達成にむけ、モデル事業として「がん検診受診勧奨推進事業（コール・リコール事業）」を、平成22年度から25年度まで実施いたしました。

この事業は、市町村のがん検診を受診していない住民に、直接電話でがん検診の受診を勧奨するものでした。4年間の事業実施によって、いずれも受診者数が増加しており、事業の効果が大きいことがわかっています。

県のモデル事業は終了しましたが、当事業団では、モデル事業を実施することで蓄積したノウハウを生かして、微力ながら市町村のお手伝いをしたいと考えました。また、継続して受診勧奨することで、一人でも多くの方のがん検診を受診していただきたいとの思いがありました。そして、平成26年度からは、事業団の独自事業として「がん検診コール・リコールセンター」を設置し、健（検）診を受託している県内の市町村へ実施を働きかけ、希望された市町村において受診勧奨推進事業を実施しています。



平成27年度の実施状況



平成27年度は、県内14市町村からの委託を受け、がん検診未受診者等16,749人を対象に電話及び文書による受診勧奨を実施いたしました。

電話は、公益財団法人秋田県総合保健事業団「がん検診コール・リコールセンター」から4名の受診勧奨員で対応いたしました。市町村から提供される受診勧奨対象者名簿にもとづいて、検診日程前に電話をかけ検診を案内し(コール)、その後も受診されない方には、重ねて追加検診や医療機関方式の受診案内(リコール)をいたしました。普段検診を受診されない方が少しでも受診の必要性に気付いていただけるよう、啓発活動を進めております。

モデル事業から数えて6年目となり、受診者数の前年度比較では大きな伸びは見られませんが、事業実施前受診者数と比較すると、安定的に効果が得られております。

(別表「平成27年度実施状況一覧」参照)

平成28年度の実施状況



平成28年度は、希望する県内13市町村のがん検診未受診者等約17,000人を対象に電話または文書による受診勧奨を実施しております。

電話をかけてもイタズラ電話と間違われたり、詐欺の電話では?と警戒されたりしてしまう場合がありますが、誤解ですので電話を切らないでお話しをさせてください。がん検診を受診しないと固く決意されている方も、受診しない理由などをお聴かせいただくとありがたいです。皆様からいただいた情報は市町村にお伝えして、がん検診受診体制などの改善に役立てていただきます。

・・・個人情報(電話番号)について・・・



市町村から提供された個人情報(電話番号等)については、次のとおり契約しています。

「事業の履行上知り得た個人情報について、履行中及び終了後も他に漏洩することや他の目的に使用はいたしません。」

★平成27年度の実施状況一覧



実施市町村	対象部位	対象者及び人数	事業団受診者数比較 (人)			実施前 (人)	
			H27	H26	増減		
鹿角市	大腸	41・46・51・56・61歳の無料クーポン対象者のうち未利用者788人	1,776	1,779	△ 3 (△ 0.2%)	1,655	
小坂町	大腸	41・46・51・56・61歳の無料クーポン対象者のうち未利用者239人	672	662	10 (1.5%)	646	
能代市	胃	クーポン (胃・大腸・乳・子宮) 対象者で未利用者2,717人	検診は他団体で実施				
三種町	大腸	当該年度の無料クーポン未利用者961人	291	330	△ 39 (△ 11.8%)	184	
八峰町	大腸	40～60歳の当該年度の無料クーポン未利用者296人	32	28	4 (14.3%)	0	
男鹿市	子宮	コール：20～64歳で検診申込者1,033人 リコール：20～64歳で市の子宮頸がん検診申込者の未受診者586人	993	1,072	△ 79 (△ 7.4%)	762	
潟上市	乳	40～74歳の当該年度の検診対象者のうち未受診者3,368人	1,483	1,061	422 (39.8%)	846	
五城目町	大腸	過去に無料クーポンの配布を受けた者で未利用者、3年未受診者、検診対象者年齢の初年度の者1,283人	1,494	1,412	82 (5.8%)	1,412	
八郎潟町	特定	40～64歳で昨年度特定健診未受診者39人、昨年度特定と胃がん両方未受診者196人、40～59歳の昨年度胃検診未受診者535人	849	812	37 (4.6%)	812	
	胃		622	594	28 (4.7%)	681	
大潟村	大腸	コール：40～74歳の検診申込者と3年未受診者973人 リコール：検診希望者のうち未受診者85人	943	944	△ 1 (△ 0.1%)	871	
上小阿仁村	子宮	22～39歳で10月末まで検診未受診者52人	81	96	△ 15 (△ 15.6%)	96	
仙北市	胃	コール：41,51歳の当該年度の無料クーポン対象者442人 リコール：コール対象者の未受診者179人	1,650	1,820	△ 170 (△ 9.3%)	1,665	
	子宮	コール：30,35,40歳と過去に配布を受けてクーポン未利用者、検診対象者年齢の初年度の者208人 リコール：9月末まで検診未受診者、クーポン未使用者748人	516	645	△ 129 (△ 20.0%)	581	
横手市	胃	40～74歳の申込者で未受診者 (クーポン券対象者含) 1,036人	250	217	33 (15.2%)	165	
羽後町	胃	40～55歳の節目年齢対象のうち未受診者985人	1,080	1,024	56 (5.5%)	1,070	
対象人数	16,749	電話勧奨実施人数 13,619 郵送勧奨実施人数 2,399	計	12,732	12,496	236 (1.9%)	11,446

公益財団法人JKAの補助事業により 胸部検診車「けいりん号」を整備しました。

(補助の正式名称：平成27年度検診車の整備補助事業の競輪公益資金による補助金)



【検診車の構成】

車両型式

いすゞ自動車 (SPG-FSR90T2)

X線装置

日立メディコ (DHF-153HMS)

F P D

キャノン (CXDI-401G)

車両架装

東京特殊車体

補助金額 10,500,000円

納車日 平成28年2月12日

【検診車の特徴】

*従来の撮影時に受診者の方が昇降台を利用して上下する方式から、管球とFPDが連動して上下する方式に変更し、撮影室内の床面をフラットにすることによって受診者の負担を減らしています。

*デジタル式の撮影装置を導入し、撮影したその場でX線画像を確認でき再撮影の発生を抑制し、前回受診時のX線画像との比較が容易になりました。



(管 球)

(F P D)



運動強度を表すMETs(メッツ)

エネルギー消費量として、よく「カロリー (kcal)」という単位をしますが、同じ運動をしても個人の体重や年齢などによって消費カロリーは異なります。

「METs (メッツ)」は**個人の体重に関係なく**運動強度を示すための単位です。

座って安静にしている状態を1.0メッツとしたときと比較して何倍のエネルギーを消費するかで運動強度を示しています。

メッツ	身体活動
0.9	睡眠
1.0	静かに座って、映画鑑賞 音楽鑑賞 テレビ鑑賞
1.5	軽いオフィスワーク 読書 運転 手芸 入浴(座位)
1.8	お皿洗い アイロンがけ 食事
2.0	お料理や食材の準備 お洗濯 シャワーを浴びる
2.3	軽いストレッチ
2.5	ゴミ捨て ペットのお世話 植物の水やり
3.0	ペットと散歩 台所のお手伝い 大工仕事
3.5	掃除機でのお掃除 庭の草むしり
4.0	庭掃除 屋根の雪下ろし 水中ウォーキング
4.5	ゴルフ バドミントン
5.0	子供と遊ぶ ソフトボール
5.5	バドミントン
6.0	スコップでの雪かき ゆっくりジョギング
6.5	エアロビクス
7.0	サッカー(レジャー) ハンドボール(試合)
7.3	テニス スカッシュ 重い荷物の運搬
8.0	山登り バスケットボール(試合)

※国立健康・栄養研究所2012.4.1改訂より



運動量を表すエクササイズEx (エクササイズ)

「Ex (エクササイズ)」は運動量を示す単位です。
 身体強度をあらわす「METs (メッツ)」に身体活動の実施時間をかけたものです。
 運動強度「Ex (エクササイズ)」が大きくなるほど運動量が多いということになります。

「Ex (エクササイズ)」の計算方法

「Ex (エクササイズ)」 = 「METs (メッツ)」 × 身体活動の実施時間 (時)

- 3メッツの身体活動を1時間行くと

3メッツ × 1時間 = 3エクササイズ



× 1時間 = 3エクササイズ

- 4メッツの身体活動を30分行くと

4メッツ × 30分 = 2エクササイズ



× 30分 = 2エクササイズ

「METs (メッツ)」(運動強度)が高い動作ほど短い時間で1エクササイズになります。

現在の身体活動は何「METs (メッツ)」くらいになりますか？

週に23「Ex (エクササイズ)」を目標に！

日本人間ドック学会健診施設機能評価学会を更新しました

人間ドック健診施設機能評価とは

人間ドックを行っている医療・健診施設を対象に、健診施設の質の改善を促進するため全 104 項目の第三者的評価を行う事業です。主な内容として「施設運営のための基本的体制」「受診者の安心と満足」「人間ドック健診の質の確保」があげられます。

評価基準はどの項目も、受診者のみなさまが安心して質の高い人間ドックを受けられるかどうか重点をおき、専門教育を受けた調査員が実施調査を行い、その結果をもとに人間ドック健診施設機能評価委員会で判定しております。加えて、日本病院会役員会で承認を得ています。

認定証はこれらの調査項目において、日本人間ドック学会が定めた基準を全てクリアしたことを証明するものです。

認定番号	285
認定開始日・変更日	2011/08/27(更新日 2016/04/01)
認定満期日	2021/03/31

【お申し込み・お問い合わせ先】

秋田県総合保健センター ドッグ健診課
〒010-0874
秋田市千秋久保田町 6-6
電話代表 018-831-2013
F A X 018-831-2014
受付時間 8:30~17:15 (土日祝日休み)
インターネット予約 <http://www.kenko-akita.jp/>



「健康あきた」第69号

平成28年11月

URL : <http://kenko-akita.jp/>

保健事業団

検索 🔍



発行 公益財団法人 秋田県総合保健事業団 〒010-0874 秋田市千秋久保田町6番6号 ☎018-831-2011
編集 総務部総務課 「健康あきた」編集委員会 印刷所 株式会社松原印刷社